



2025年12月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月29日

上場会社名 株式会社 不二家

上場取引所 東

コード番号 2211 URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 宣行

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務人事本部長 (氏名) 佐野 正樹

TEL 03-5978-8100

半期報告書提出予定日 2025年8月7日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年1月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	56,686	6.6	1,202	10.5	1,706	3.3	836	△1.4
2024年12月期中間期	53,181	4.3	1,088	429.4	1,652	172.3	848	605.6

(注) 包括利益 2025年12月期中間期 259百万円 (△88.1%) 2024年12月期中間期 2,177百万円 (117.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	32.46	—
2024年12月期中間期	32.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	92,377	62,331	62.1
2024年12月期	90,466	63,067	64.0

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 57,404百万円 2024年12月期 57,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	118,000	7.3	2,500	8.8	3,200	2.2	1,800	7.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年12月期中間期	25,784,659 株	2024年12月期	25,784,659 株
2025年12月期中間期	9,053 株	2024年12月期	9,000 株
2025年12月期中間期	25,775,617 株	2024年12月期中間期	25,776,876 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年1月1日～6月30日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や政府の各種政策の効果により景気は緩やかに回復しております。その一方で、食品業界においては、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に加え、値上げに対する消費者の節約志向の高まりにより、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下にあって当社グループは、お客様により良い商品と最善のサービスの提供を心掛け、売上と利益の確保につとめてまいりました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は566億86百万円(対前年同期比106.6%)、営業利益は12億2百万円(対前年同期比110.5%)、経常利益は17億6百万円(対前年同期比103.3%)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億36百万円(対前年同期比98.6%)となりました。

当社グループのセグメントの概況は次のとおりであります。

		当中間連結会計期間		前中間連結会計期間		対前年 同期比	増減
		2025年 1月 1日から 2025年 6月30日まで		2024年 1月 1日から 2024年 6月30日まで			
		売上高	構成比	売上高	構成比		
洋菓子事業		百万円	%	百万円	%	%	百万円
	洋菓子	12,389	21.8	11,805	22.2	105.0	584
	レストラン	3,037	5.4	2,910	5.5	104.3	126
	計	15,426	27.2	14,715	27.7	104.8	711
製菓事業	菓 子	37,483	66.1	34,376	64.6	109.0	3,106
	飲 料	1,951	3.5	2,447	4.6	79.7	△496
	計	39,434	69.6	36,824	69.2	107.1	2,610
	その他	1,825	3.2	1,641	3.1	111.2	183
合 計		56,686	100.0	53,181	100.0	106.6	3,505

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

<洋菓子事業>

当社単体の洋菓子事業においては、「新生活!スイーツ応援!」と称し、洋菓子チェーン店にて主力商品「プレミアムショートケーキ(国産苺)」や旬の素材を使用した週末限定商品を拡販したほか、『ショートケーキ12の色物語』シリーズ等の販売に注力いたしました。また、ゴールデンウィークや母の日に合わせたイベントを実施し、話題を喚起いたしました。既存の洋菓子店舗については、当中間連結会計期間においてV I(ビジュアルアイデンティティ)を基調とした改装を36店実施したほか、新業態店舗「ペコちゃんmilkyドーナツ」については、新規出店に取り組み、店舗数は10店(当中間連結会計期間における新規出店は9店)となり、新規顧客の獲得につとめました。また、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)においては、コンセプトショップを出店いたしました。なお、同時点における不二家洋菓子店の営業店舗数は865店(前年同期差48店減)となっております。

広域流通企業との取り組みについては、コンビニエンスストア向けに生産性の高い製造ラインを活用した商品を積極的に提案したほか、取引先の新規開拓を行い、売上の確保をはかりました。なお、海外輸出においては北米における新規商品の提案を継続し、さらなる売上向上につとめました。

上記の結果、単体の洋菓子事業の売上は、前年同期の実績を上回りました。

レストラン事業では、原材料価格等の高騰への対応として、アンパンマンレストランにおけるメニュー改善及び価格の一部見直しを実施し、売上及び利益率の向上をはかりました。その結果、売上は前年同期の実績を上回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間における洋菓子事業全体の売上高は154億26百万円(対前年同期比104.8%)となりました。利益面では、卵等の原材料価格の高騰や労務費の上昇の影響により減益となりましたが、一部商品について規格及び価格の見直しを実施したほか、生産ラインの省人化や生産能力増強による生産性向上をはかること

により、収益性の改善を進めております。

<製菓事業>

当社単体の菓子事業においては、『ホームパイ』ブランドの強化に向け、タレントを起用した販売促進活動を実施するとともに、4月には「ホームパイ(アーモンドクッキー)」を発売し、『カントリーマアム』と並べて陳列することにより大袋ビスケット製品の売上拡大をはかりました。また、季節限定商品として、群馬県の大学と共同で開発を行った「カントリーマアム(富岡シルクミルク)」や厳選素材を使用した「カントリーマアム(夕張メロン)」を発売し、好調に推移しております。『ミルキー』については、新テレビコマーシャルを放映したほか、人気アニメとのコラボ製品を発売し、『ルック』については、SNSを活用したキャンペーンを実施し、話題喚起による売上伸長につとめました。また、ペコちゃん生誕75周年を記念した商品の発売やイベントの実施により、当社キャラクターの認知度向上をはかりました。

上記の結果、単体の菓子事業の売上は、前年同期の実績を上回りました。

飲料事業では、レモンスカッシュ発売50周年を記念して「プレミアムレモンスカッシュ380mlボトル缶」を発売いたしました。主力製品の価格改定の影響により、売上については前年同期の実績を下回ったものの、利益面では改善をはかることができました。

不二家(杭州)食品有限公司においては、中国国内の経済の影響が大きく、売上は前年同期の実績を下回りました。なお、新たにスナック菓子事業への参入に取り組むなど、売上の回復につとめております。

以上の結果、当中間連結会計期間における製菓事業全体の売上高は394億34百万円(対前年同期比107.1%)となりました。利益面では、カカオ豆の高騰の影響により、一部商品について内容量及び価格の見直しを実施したほか、物流費の改善や生産効率のよい大袋製品の販売が好調に推移したことにより、増益となりました。

<その他>

キャラクターグッズ販売事業、ライセンス事業、不動産賃貸事業及び㈱不二家システムセンターのデータ入力サービスなどの事務受託業務の売上高は18億25百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は334億63百万円で、主に受取手形及び売掛金の減により前連結会計年度末に比べ19億42百万円減少いたしました。固定資産は589億14百万円で、主に有形固定資産や投資その他の資産のその他に含まれる関係会社出資金の増により、前連結会計年度末に比べ38億53百万円の増加となりました。

この結果、総資産は923億77百万円で前連結会計年度末に比べ19億11百万円増加いたしました。

また、流動負債は199億67百万円で、主に短期借入金の返済により前連結会計年度末に比べ44億88百万円減少いたしました。固定負債は100億79百万円で、主に長期借入金の増により前連結会計年度末に比べ71億35百万円増加いたしました。

この結果、負債は合計300億46百万円で、前連結会計年度末に比べ26億47百万円増加いたしました。

純資産は623億31百万円で、主に為替換算調整勘定や非支配株主持分の減により前連結会計年度末に比べ7億36百万円減少となりました。

次に、当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、64億68百万円(前年同期は48億13百万円の獲得)となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、61億24百万円(前年同期は24億23百万円の使用)となりました。これは主に固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、28億96百万円(前年同期は11億32百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の新規約定によるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、101億37百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年2月12日に発表した予想の変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,371	11,408
受取手形及び売掛金	17,621	10,883
商品及び製品	4,243	4,266
仕掛品	478	621
原材料及び貯蔵品	3,706	5,419
その他	1,158	1,037
貸倒引当金	△173	△173
流動資産合計	35,406	33,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,329	13,088
機械装置及び運搬具(純額)	14,671	14,129
土地	7,390	7,362
リース資産(純額)	899	957
その他(純額)	3,617	6,205
有形固定資産合計	39,908	41,743
無形固定資産		
その他	1,669	1,593
無形固定資産合計	1,669	1,593
投資その他の資産		
投資有価証券	6,858	7,094
繰延税金資産	1,216	1,261
敷金及び保証金	1,998	2,006
退職給付に係る資産	677	687
その他	2,857	4,651
貸倒引当金	△126	△124
投資その他の資産合計	13,481	15,576
固定資産合計	55,060	58,914
資産合計	90,466	92,377

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,493	7,901
短期借入金	3,960	960
リース債務	199	193
未払金	3,112	3,702
返金負債	2,544	2,020
未払法人税等	893	792
賞与引当金	499	559
その他	4,752	3,838
流動負債合計	24,455	19,967
固定負債		
長期借入金	—	7,000
リース債務	564	620
繰延税金負債	255	250
退職給付に係る負債	1,258	1,319
役員退職慰労引当金	70	72
その他	793	814
固定負債合計	2,943	10,079
負債合計	27,399	30,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,280	18,280
資本剰余金	4,060	4,060
利益剰余金	32,339	32,403
自己株式	△17	△17
株主資本合計	54,662	54,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279	338
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	2,003	1,434
退職給付に係る調整累計額	962	905
その他の包括利益累計額合計	3,250	2,678
非支配株主持分	5,153	4,926
純資産合計	63,067	62,331
負債純資産合計	90,466	92,377

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)
売上高	53,181	56,686
売上原価	35,389	38,011
売上総利益	17,792	18,675
販売費及び一般管理費	16,703	17,472
営業利益	1,088	1,202
営業外収益		
受取利息	49	33
受取配当金	53	65
持分法による投資利益	399	417
その他	90	99
営業外収益合計	593	616
営業外費用		
支払利息	4	31
支払手数料	—	19
為替差損	—	44
その他	25	17
営業外費用合計	29	112
経常利益	1,652	1,706
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	—	12
関係会社株式売却益	300	282
特別利益合計	300	297
特別損失		
固定資産売却損	0	27
固定資産廃棄損	150	159
減損損失	73	—
支払補償費	—	121
その他	35	40
特別損失合計	260	348
税金等調整前中間純利益	1,692	1,654
法人税、住民税及び事業税	644	689
法人税等調整額	△43	△64
法人税等合計	601	625
中間純利益	1,091	1,029
非支配株主に帰属する中間純利益	242	192
親会社株主に帰属する中間純利益	848	836

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	1,091	1,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	66
為替換算調整勘定	1,033	△745
退職給付に係る調整額	△30	△57
持分法適用会社に対する持分相当額	38	△33
その他の包括利益合計	1,085	△769
中間包括利益	2,177	259
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,629	264
非支配株主に係る中間包括利益	547	△5

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,692	1,654
減価償却費	2,445	2,599
減損損失	73	—
持分法による投資損益(△は益)	△399	△417
支払補償費	—	121
関係会社株式売却損益(△は益)	△300	△282
売上債権の増減額(△は増加)	4,565	6,764
棚卸資産の増減額(△は増加)	△52	△1,941
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,205	△544
未払金の増減額(△は減少)	△427	△236
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△6	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	0
返金負債の増減額(△は減少)	△715	△506
その他	△753	△98
小計	4,904	7,082
利息及び配当金の受取額	183	212
利息の支払額	△4	△22
法人税等の支払額	△270	△768
その他	—	△35
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,813	6,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	870	△6
関係会社出資金の払込による支出	△1,172	△1,819
投資有価証券の売却による収入	0	—
関係会社株式の売却による収入	451	447
固定資産の取得による支出	△2,401	△4,481
その他	△172	△263
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,423	△6,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△3,000
長期借入れによる収入	—	7,000
リース債務の返済による支出	△91	△111
配当金の支払額	△769	△770
非支配株主への配当金の支払額	△271	△222
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,132	2,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	162	△119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,419	3,121
現金及び現金同等物の期首残高	7,781	7,016
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,201	10,137

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	11,805	—	11,805	—	11,805	—	11,805
レストラン	2,910	—	2,910	—	2,910	—	2,910
菓子	—	34,376	34,376	—	34,376	—	34,376
飲料	—	2,447	2,447	—	2,447	—	2,447
その他	—	—	—	1,537	1,537	—	1,537
顧客との契約から生じる収益	14,715	36,824	51,539	1,537	53,077	—	53,077
その他の収益	—	—	—	103	103	—	103
外部顧客への売上高	14,715	36,824	51,539	1,641	53,181	—	53,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	197	197	236	433	△433	—
計	14,715	37,021	51,737	1,878	53,615	△433	53,181
セグメント損益(△は損失)	△595	3,857	3,262	252	3,514	△2,426	1,088

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,426百万円には、その他の調整額△3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,422百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結損 益計算書計 上額 (注) 3
	洋菓子事業	製菓事業	計				
売上高							
洋菓子	12,389	—	12,389	—	12,389	—	12,389
レストラン	3,037	—	3,037	—	3,037	—	3,037
菓子	—	37,483	37,483	—	37,483	—	37,483
飲料	—	1,951	1,951	—	1,951	—	1,951
その他	—	—	—	1,721	1,721	—	1,721
顧客との契約から生じる収益	15,426	39,434	54,861	1,721	56,583	—	56,583
その他の収益	—	—	—	103	103	—	103
外部顧客への売上高	15,426	39,434	54,861	1,825	56,686	—	56,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	157	158	228	387	△387	—
計	15,427	39,592	55,019	2,054	57,073	△387	56,686
セグメント損益(△は損失)	△950	4,209	3,258	342	3,601	△2,398	1,202

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターグッズ等の通信販売、ライセンス事業、不動産事業及び事務受託業務等を含んでおります。

2 セグメント損益(△は損失)の調整額△2,398百万円には、その他の調整額3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,402百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用であります。

3 セグメント損益(△は損失)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。